



<令和2年度事業計画> ① 法人全体の運営

項目	「第15回通常社員総会」開催
内容	2019(令和元)年度の事業報告、決算報告、会費報告の報告を行う。 2020(令和2)年度の事業計画、収支予算の報告を行う。
概要	【日時】 2020(令和2)年5月17日(日)15:00~16:00 【会場】 しいの実シアター

項目	「理事会」開催
内容	年に6回程度、開催しNPOの運営について協議を行う。

項目	交流の夕べ 中止
内容	オフィス棟、休憩棟、倉庫棟の3棟が完成したので、その披露も兼ねて総会後に交流の夕べを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
概要	【日時】 2020(令和2)年5月17日(日)18:00~20:00 【会場】 しいの実シアター 休憩棟

項目	やくもネット事務局とポータルサイトの運営
内容	やくもネットの事務局として、八雲町内各団体の運営を支える活動を行う。 八雲町の情報発信ツール「ようこそ八雲へ」での情報発信を行う。

項目	島根演劇ネット事務局
内容	島根演劇ネットの事務局として、運営を支える活動を行う。 島根文化団体連合会の加盟団体として、「次世代育成事業」の事務局も行う

<令和2年度事業計画> ② 表現・コミュニケーション能力育成事業

保育園・幼稚園・小学校・中学校 高校・短期大学部・大学		実施月日	実施場所	受講数	回数
八雲町	第1回ファミリーサークル「表現あそび」	R2/5/16 (延期) R2/9/5	八雲町 どんぐり館	15名程度	1回
	どんぐり館 星キラワーク	R2/5/13 (中止) R2/10/7	八雲町 どんぐり館	各20名程度	2回
	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R2/9~12	八雲小学校	延べ 400名程度	15回
	八雲中・東出雲中地域リーダー合同研修会 コミュニケーション・ワーク	R2/12/26	八雲町公民館	50名程度	1回
松江市	島根県立大学4大 単発ワーク	R2/4/7	島根県立大アリーナ	(中止)	—
	島根県立大学4大ワーク 春学期	R2/4/13~6/22	島根県立大アリーナ	(中止)	—
	島根県立大学短大ワーク 春学期	R2/4/16~6/11	島根県立大アリーナ	(中止)	—
	まつえ市民大学ワーク	R2/5/21	スティックビル5F	(中止)	—
	松江市立義務教育学校八束学園 (次世代育成事業)	R2/11/9 R2/11/26	松江市立義務教育 学校八束学園	延べ 200名程度	6回
	島根、本庄、川津、美保関、八束公民館 事業 中学生のリーダー研修	R3/3/6予定	サンレイク	50名程度	1回
東部	飯南町頓原中学校 (次世代育成事業)	R2/9/24	飯南町頓原中学校	延べ 40名程度	2回

企業、地域、PTA、その他		実施月日	実施場所	受講数	回数
市内	島根県看護協会 助産師初任者研修	R2/10/17予定	島根県看護協会	15名程度	1回
東部	令和2年度保育士キャリアアップ研修 新任保育士向け保育実践	R2/8/26	出雲市ビックハート	40名程度	1回
西部	社会明るくする運動ワーク(益田保護士会)	R2/7/1	益田グラントワ	(中止)	—

<令和2度事業計画> ③ 物 販 事 業

かやぶき交流館での販売中心に、より工夫して進めていきます。



<令和2年度事業計画> ④ しいの実シアターの管理・運営事業

指定管理業務は、公演事業、人材養成事業、普及啓発事業を実施します。

公演事業

事業名	「ゼロ弾きのゴーシュ」学校公演
目的	「ゼロ弾きのゴーシュ」は、ブルガリア公演でも評価されて法人の宝となってきた。そこで、子ども達に「ゼロ弾きのゴーシュ」を観る機会を提供する。
日程等	日程:令和2年12月14日(月)合計3回 対象:松江市立八雲小学校、来待小学校、八雲中学校
参加者	目標: 222人
目標	・送迎バスの費用を一部負担して、学校単位で観劇できる機会を提供する。 ・演出家による作品解説を実施し、普及啓発を行っていく。

事業名	幼稚園・保育園・幼保園連携公演 中止
目的	19年間継続している事業である。感性や想像力、創造性に長けている人の場合、子どもの頃に数多くの舞台作品に触れていたという人の「目の確かさ」を感じることもある。幼少期の体験は、本人の記憶には残らないかもしれないが、その人の人間形成には大きく影響するはずである。
日程等	日程:令和2年6月11日～12日 名古屋 人形劇団むすび座 2回×2作品 演目:『どんどこもんちゃん』 原作:とよたかずひこ 構成・演出:加藤典子 演目:『カミナリカレー』 作:和田周子 演出:ちゅうから屋
参加者	目標: 350人
目標	①松江市内に住む未就学児の最初の劇場体験機会をつくる。 ③在宅の母子共に心が安定して、親子関係に良い影響を与えることができる。 ④高齢者は、未就学児の歓声を聞いて活力をもらって童心に帰る楽しさを味わう。

人材養成事業

事業名	俳優養成のための短期創造講座
目的	①新国立演劇研修所の卒業生2名を講師として、劇団員らが舞台俳優について学ぶ。 ②演出家・小林七緒氏を講師に演技を学ぶ。 この取り組みを継続することで、全国へ向けて劇場の認知度を高めていく。
日程等	日程:①令和2年6月～令和3年2月 ②令和3年2月～3月
参加者	目標: のべ100人
目標	①20分程度の身体訓練メニューを繰り返し講師から学び、個々の不十分な個所を具体的に指摘してもらう。 ②稽古作品を決めて行うことで、具体的に活かせる学びを得ることができる。 ①②共に、演劇を学びたいと思っている10代や20代の演劇活動者が、関東圏に行かなくても学べる場を提供する。

事業名	高校演劇部支援事業
目的	島根県高文連演劇専門部松江地区に加盟する7校の演劇部生徒のレベルアップを図るため。演出、演技、照明、音響について指導する。
日程等	日程:令和3年3月20日(土・祝)～21日(日) 3回 講師:園山土筆 有田美由樹 川村真美 黒田徹
参加者	目標: のべ90人
目標	・高校演劇部の課題である照明について、照明卓を操作できるようにする。 ・合同公演の強みを生かして、4～5人体制で、舞台技術への興味関心を高める。 ・事前に演劇部顧問と交流、意見交換行なって現状の課題を把握しておく。

事業名	大学との連携 インターンシップの受入れ
目的	①学生が芸術に関心をもち、劇場関係者や演劇鑑賞者として育っていくこと。 ②舞台芸術の実情を知り、どのように社会の役に立っているかを認識すること。 ③劇場業務の楽しさ、必要性を理解すること ④「しいの実シアター」の存在とその価値を知ること。
日程等	日程: 令和2年9月～令和3年3月 2人×5回 講師: 園山土筆、有田美由樹 内容: 座学:指定管理者制度について、劇場法について 体験:広報活動、施設整備、専属劇団 対象: 文化政策、地域づくり、芸術創造等に 興味・関心をもっている大学生
参加者	目標: 2名
目標	・ふるさと島根定住財団実施の「インターンシップ募集」に応募した学生を受入れる。 ・劇場内部の業務体験だけでなく、地域住民等と交流できる機会をつくり、地域の中での劇場の在り方を学ぶことができるようにする。

普及啓発事業

事業名	しいの実シアター未来学校 中止
目的	平成28年度から4年間継続実施している。芸術のもつ力で子どもたちに豊かな感性と生きる力を育み、未来の地域を創る人材として育成することを目指している。 子どもたちはリーダーシップをとったり、自分で決めて自ら行動を起こしたりと、自分に自信をもった様子が表れてきている。
日程等	日程:令和2年8月6日(木)～8日(土) 3回 講師:田中小百合(NPO 法人明るい生活・代表)園山土筆、有田美由樹、川村真美 対象:小学生～中学生 20人 内容:コミュニケーションワークショップ、オリジナルの劇づくり
参加者	目標: のべ60人
目標	・参加者の主体性を大事にして過程を重視し、小さな努力やオリジナリティを評価して成長を促す ・集団行動の苦手な子どものハードルを下げるため、1日参加も可能とする ・「劇場探検」で、劇場を身近に感じさせる ・都会地から里帰りしている子どもも、自然豊かな環境で体験できるようにする。 ・異年齢の集団の中で、参加者同士で学び合うようにする。



事業名	新国立劇場演劇研修所生と専属劇団員との演劇研修交流
目的	新国立劇場(東京)には演劇研修所がある。毎年700人ほどが受験し16名が合格しても3年間の学びの中で12名だけが修了できるという厳しい場でもある。 所長の宮田慶子氏(演出家)によれば、「研修所ができて15年が経過。180人の卒業生は関東圏で活躍してはいるが、生計を立てている者はわずか1名である。国内の魅力ある劇場を紹介して、地方でも活躍できるようにしたい」とのこと。 この試みを受けて、専属劇団員との交流や研修を行う。
日程等	日程:令和2年11月27日(金)~29日(日) 参加:宮田慶子氏、研修所生12名 スタッフ2名 園山土筆、あしぶえ劇団員7名
参加者	目標: のべ70人
目標	・団員の演技力向上、シアター認知度向上、人材確保等に繋がる。

指定管理業務以外の事業

事業名	地域連携演劇公演 「セロ弾きのゴーシュ」 米子公演 中止
目的	米子市淀江文化センターからの上演依頼で、「セロ弾きのゴーシュ」を上演し、鳥取県の観客にも、支援者やファンの輪を広げ、「松江・森の演劇祭」へ誘客する。
日程等	日程:令和2年5月24日(日) 1回 会場:米子市淀江文化センター「さなめホール」(鳥取県米子市)
参加者	目標: 300人
目標	新型コロナウイルスの感染防止のため、中止。

事業名	コミュニケーションワークショップ
目的	①松江市社協からの依頼で、11年間継続しているワークショップを実施する。 ②9年間毎年継続している在宅母子と地域の高齢者が参加するワークを行なう。 ③11年間継続の助産師初任者研修ワークを実施する。
日程等	日程:令和2年5月~令和3年2月 会場:②八雲児童センター どんぐり館 ③島根県看護協会研修所(松江市) 講師:有田美由樹
参加者	目標:116人
目標	①②③共に、高い評価を得ているので、今後も継続したい。

事業名	大学連携 中止
目的	島根県立大学で7年間継続実施している。小・中・高と「同調圧力」の中で育ってきているため、ゲームの中で失敗しては笑い合っ、様々な力をつけていく
日程等	日程:令和2年4月~7月 会場:島根県立大学(松江市) 19回 講師:園山土筆、有田美由樹、田中小百合 内容:コミュニケーションワークショップ
参加者	島根県立大大学人間科学部保育教育学科1年生44人程度、 島根県立大学短期大学部保育学科1年生42人程度
目標	・初対面の壁を取り払う、人に聞こえる声を出す、観察する、意見を言う、相手に質問する、想像力を高めるなど。

<施設管理>

事業名	春秋の草刈り事業
目的	市民ボランティアを募って、シアター職員、劇団員と共に、2,600坪の敷地内の草刈りを実施して、森の整備を行う。
日程等	春:5月10日(日) 秋:10月17日(土)
参加者	目標:のべ30人
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理経費の削減に努める。 ・職員と作業することで、シアターに対する市民の好感度・愛着度を高める。 ・整備された劇場環境をつくることで、一般来館者の好感度が高まる。

事業名	落ち葉集め エコ活動
目的	敷地内に積もる晩秋の落ち葉を集めて、翌年のシアター樹木の堆肥とする。 整備された劇場環境をつくることで、一般来館者の好感度を高める。
日程等	日程:令和2年11月22日(日) 参加:シアター職員、劇団員、市民ボランティア、未来学校等の各種事業参加者
参加者	目標:のべ30人
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理経費の削減に努める。 ・近年は子どもたちの労働体験が減少しているため、保護者からは喜ばれている。

案内標識設置を働きかけたい！

現在、シアターを訪れる観客等は、東京から九州まで幅広くなった。また、広島、山口、鳥取方面や、市の中心部や北部から自家用車で来場する観客は、道案内の標識がほとんど無いため、開演時間に間に合わないということも度々起きている。これに対応するため、手作りの小さな標識を製作して設置しているが、当局の許可も必要であり、国道、県道、市道に設置する案内標識のほか、市の公共施設としての標識について本格的な設置の時期となっている。なお、この看板等設置については、近在のかやぶき交流館名も入れたいことを付記し、看板設置についての理解を深めたい。



<令和2年度事業計画> ⑤かやぶき交流館の管理・運営事業

<貸館事業>

- ・しいの実シアター及び町内の各種事業と連携して利用増に努めます。
- ・貸館利用を推進するため、しいの実シアター事業の広報活動に合わせて、かやぶき交流館の広報も行います。また、SNS広報も実施します。

<自主事業>

事業名	日程	内容
こいのぼり	4/19～5/16	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実行委員会主催の鯉のぼりとスタンプラリーは中止されたが、鯉のぼりについては、かやぶき交流館独自に掲揚する。
蕎麦ランチの提供	シアターでの公演時	公演と連携して開催する
来て！見て！やくも収穫祭	11月	町内イベントに参加
趣味の活動	通年	切り紙、フェルトちくちく遊びなど
物販活動	通年	物販販売

<施設管理>

通路の改修工事	駐車場から建物に入るまでの通路が凸凹で、改修工事が急務であるため、松江市に働きかけて改善をめざします。
駐車場の白線引き	駐車場の安全管理において、業者による白ライン引きを急ぎます。

演劇祭は2年延期に決定！

2022年11月3日(木・祝)～6日(日)に！

今年度は、「松江・森の演劇祭 2020」の開催年で、準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、2年延期して、2022年11月3日(木・祝)から6日(日)に開催することになりました。

2年延期の理由は、フランス、スペイン、ブルガリア、カナダの5つの海外劇団および3つの国内劇団の全集団が安全に集まることができること、国内外から多くのお客さまに安心してご来場いただきたいこと、ボランティアの皆さんも安心して参加できること等を考慮しての決断でした。

今年度からは、「松江・森の演劇ゾーン計画」に添って、自然の中で、ゆったりと楽しめる空間づくりを進めて、「選ばれるまち—松江」、「子育てしやすいまち—松江」にふさわしい演劇祭として、家族連れで賑わう演劇祭を創り上げるために力を注いで参ります。

「松江・森の演劇祭2022」の計画

【日 程】2022年(令和4)11月3日(木・祝)～11月6日(日)

【会 場】しいの実シアター、平原会館、平原農村公園、かやぶき交流館、仮設大型テント

【作 品】5ヵ国8集団9作品

「GO！」 ポリーナ・ポリソヴァ (フランス)

「きりん」 シリキテウラシアター (スペイン)

「アマノ」 エル・パティオ (スペイン)

「父さんのすることはまちがいなし」 クレドシアター (ブルガリア)

「ひつじ」 コーパス (カナダ)

「飛行隊」 コーパス (カナダ)

「GABEZ Mime comedy show ～The Window～」 (日本・東京)

「ともだちや」 むすび座 (日本・名古屋)

「落語オペラ」 Studio 歌鈴 (日本・広島)